

Category 6A対応UTPケーブル「PUR6AV04BU-G」の難燃性について

パンドウイトが製造するCategory 6A対応UTPケーブル「PUR6AV04BU-G」は、UL (Underwriters Laboratories、以下UL)の定める燃焼性試験規格において、CMR (ライザー) グレードを取得している、難燃性に極めて優れたケーブルです。

● ケーブルの難燃規格について

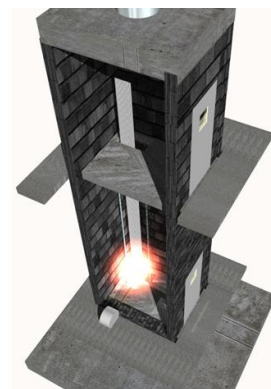
ケーブルの難燃性は、国内外の規格により様々な試験方法や定義があり、主な難燃規格は以下の通りです。

難燃性	難燃グレード	材質	試験規格	試験方法	主な用途
	CMP (プレナム)	フッ素系樹脂	NFPA 262 (UL 910)	スタイナートンネル試験	空調空間への敷設に要求されるグレード
	CMR (ライザー)	難燃性PVC	UL 1666	ライザー試験	複数階に渡る垂直配線に要求されるグレード
	CM	難燃性PVC	UL1685 JIS C 3521	垂直トレイ燃焼試験	ケーブルラックへの敷設に要求されるグレード
	CMX	難燃性PVC	UL 1581 (VW-1)	試料1本の垂直燃焼試験	米国で要求される低難燃グレード
	EM (エコケーブル)	耐熱性PE	JIS C 3005	試料1本の60°傾斜燃焼試験	日本で要求される一般的グレード

● CMR (ライザー) グレードとは？

試験規格 UL 1666は、ビル内の垂直シャフト (EPS)内に敷設されるケーブルを対象とした試験方法です。

試験装置 1階部分から3階天井部分に渡って設置した試験試料にプロパンガスバーナで点火し、炎の伝播高さおよび3階床部分の温度を測定します。火源の熱量は垂直トレイ燃焼試験の約7倍になります。



試験装置外観 (JECTECより)